

平成 30 年度

愛媛大学農学部

アドミッション・オフィス（AO）入試Ⅱ

学生募集要項

- 食料生産学科
知的食料生産科学特別コース
- 生命機能学科
健康機能栄養科学特別コース
- 生物環境学科
水環境再生科学特別コース

愛媛大学農学部

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 特別コースの受験を考えている皆さんへ | 1 |
| 2. 特別コースの概要 | 1 |
| (1)食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース | 1 |
| i. コースの目指す教育 | |
| ii. 選抜方法の趣旨 | |
| iii. アドミッション・ポリシー | |
| (2)生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース | 2 |
| i. コースの目指す教育 | |
| ii. 選抜方法の趣旨 | |
| iii. アドミッション・ポリシー | |
| (3)生物環境学科 水環境再生科学特別コース | 3 |
| i. コースの目指す教育 | |
| ii. 選抜方法の趣旨 | |
| iii. アドミッション・ポリシー | |
| 3. 募集人員 | 4 |
| 4. 出願要件 | 4 |
| 5. 出願手続 | 4 |
| (1)出願方法（インターネット出願） | 4 |
| (2)出願受付期間 | 4 |
| (3)郵送が必要な出願書類の送付先 | 4 |
| (4)出願手順，検定料支払方法，出願書類 | 5 |
| i. 出願手順 | |
| ii. 検定料支払方法 | |
| iii. 郵送が必要な出願書類 | |
| (5)検定料の返還 | 8 |
| (6)注意事項 | 8 |
| 6. 入学者選抜方法 | 9 |
| (1)大学入試センター試験の利用教科・科目 | 9 |
| (2)大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点 | 10 |
| (3)採点・評価基準 | 10 |
| i. 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース | |
| ii. 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース | |
| iii. 生物環境学科 水環境再生科学特別コース | |
| 7. 可否判定基準 | 11 |
| 8. 選抜期日等及び試験場 | 11 |
| 9. 合格者発表の日時 | 11 |
| 10. 入学手続及び初年度の諸経費 | 12 |
| (1)入学手続 | 12 |
| (2)初年度の諸経費 | 12 |
| 11. 障がい等を有する入学志願者の出願 | 13 |
| 12. 留意事項 | 13 |
| 13. 入学試験個人成績の開示 | 13 |
| 14. 個人情報の取扱い | 14 |

(裏表紙内側) 愛媛大学農学部への交通案内

平成30年度入試より，出願方法がインターネット出願のみとなります。
志願者がパソコン等インターネット環境を持たない場合でも，保護者等の所有する端末や，公共施設等のパソコンのインターネット環境を利用する方法で出願は可能です。
また，出願情報の登録期間内の平日9時から17時まで入試課窓口に出願用のパソコンを用意していますので，利用を希望する場合は事前に教育学生支援部入試課にご相談ください。
上記のいずれの方法によってもインターネット環境が利用できない場合は，平成29年11月24日(金)の17時までに教育学生支援部入試課(4ページ参照)までご相談ください。

1. 特別コースの受験を考えている皆さんへ

愛媛大学農学部は、学術研究の進展や農学分野に対する社会・地域からの要望に対応することを目的として、平成28年4月に改組しました。この改組の大きなポイントは2つあり、その1つは農学の3つのキーワード、すなわち「食料」「生命」「環境」に対応する3つの学科（食料生産学科、生命機能学科、生物環境学科）の設置であり、もう1つは3つの特別コースの新設です。特別コースは、広範にわたる農学分野の中でも、今後、社会的要請が特に大きくなり、農学が新たに担うべきと考えられる分野に関する、高度な専門知識と技術をもったエキスパートを養成することを目的としています。将来、新たな分野で活躍したい、人類の豊かな未来のために貢献したいという意欲をもつ皆さんの受験を期待しています。

2. 特別コースの概要

(1) 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース

i. コースの目指す教育

本特別コースは、最先端の情報通信技術やセンサー技術を利用し、植物生体情報や環境情報の収集と解析、植物や環境に関するビッグデータ利用によるデータベースの構築と解析を通して、食料生産の情報化・知能化の推進、スマートアグリの実現を目指して教育研究を行います。また、生産現場における農業生産工程管理（GAP）や認定農業者制度などに関する情報も活用し、食の安全性や品質を担保するためトレーサビリティシステムなどの利用による流通システムの可視化を支援します。さらに、これら生産、収穫、流通、貯蔵、加工、販売などの経済活動を俯瞰的に捉え、大規模施設園芸団地と周辺の圃場や企業との連携による6次産業化など、新しい形の食料生産をイノベーションするための教育研究も行います。最終的には「総合情報システム化によるフードイノベーション」に対応できるスペシャリストや研究者を育成します。

ii. 選抜方法の趣旨

大学入試センター試験では、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、食料や情報化技術に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの6年間の学習に励む強い意志と知能的食料生産科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、知能的食料生産科学に係わる基礎的な知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。

iii. アドミッション・ポリシー

<食料生産学科アドミッション・ポリシー>

食料生産学科は、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスを俯瞰できる広い視野をもち、農業の6次産業化、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給の実現に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

【知能的食料生産科学特別コース アドミッション・ポリシー】

知能的食料生産科学特別コースは、圃場、園芸施設、植物工場など様々な食料生産現場において、篤農家技術からセンサー技術、情報化技術、情報通信技術まで様々な先端技術を活用して、栽培、管理から、収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスの知能化、スマート化を進めるために必要な知識や技術を身につける意欲をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

※スマート化：情報通信技術（ICT）を駆使し、状況に応じて運用を最適化するインテリジェントなシステムを構築すること
(知識・理解)

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に食料に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の6年一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(2) 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース

i. コースの目指す教育

高齢化と健康意識の向上に伴って、食による健康維持や食品の機能性に関する教育研究の重要性はますます高まっています。このような社会的背景のもと、健康機能栄養科学特別コースでは、「食と健康」に重点を置いた、大学院修士課程までの6年一貫教育を実施します。食品成分の機能学的・栄養学的解析に関する基礎領域から、機能性食品の開発などの産業に直結した応用領域に至る教育・研究を通して、食と健康のエキスパート、及び研究者を育成します。また、農学研究科附属食品健康科学研究センターと連携するとともに、医学部との医農連携による教育体制を取ることを特徴としています。

ii. 選抜方法の趣旨

大学入試センター試験では、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、食品の健康機能や栄養機能に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの6年間の学習に励む強い意志と健康機能栄養科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、健康機能栄養科学に係わる基礎的知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。

iii. アドミッション・ポリシー

<生命機能学科アドミッション・ポリシー>

生命機能学科は、生命化学分野に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、生命機能の解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

【健康機能栄養科学特別コース アドミッション・ポリシー】

健康機能栄養科学特別コースは、食品の栄養機能や保健機能に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、食の機能性解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

(知識・理解)

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に生命に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の6年一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(3) 生物環境学科 水環境再生科学特別コース

i. コースの目指す教育

農村の水環境問題は、その重要性にもかかわらず、対策が極めて遅れています。本特別コースでは、日本はもとより発展途上国において、生活排水、工業排水、農業排水などで汚染が進行している「農村の農業用水、生活用水、河川水、地下水などの水環境」の再生と、下水再生水や下水汚泥などの再生資源の農業利用に関して、世界で活躍できる高度な知識と技術を有する人材を育成します。

また、愛媛大学沿岸環境科学研究センター、農学部環境先端技術センターと連携協力し、水質の計測・分析・解析に関する最先端手法・技術（環境微量分析、分子生物学的解析など）を教育することを特徴としています。

ii. 選抜方法の趣旨

大学入試センター試験では、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、農村の水環境に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの6年間の学習に励む強い意志と水環境再生科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、水環境再生科学に係わる基礎的な知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。

iii. アドミッション・ポリシー

〈生物環境学科アドミッション・ポリシー〉

生物環境学科は、山から海に至る広範囲の環境問題に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、地域規模から世界規模の範囲で活躍する意欲のある学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

【水環境再生科学特別コース アドミッション・ポリシー】

水環境再生科学特別コースは、農村の水環境に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、日本はもとより世界的な観点から、その問題の解決に意欲的に取り組むことができる学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

(知識・理解)

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に環境に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の6年一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

3. 募集人員

| 学科・コース名 | 募集人員 |
|-----------------------|------|
| 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース | 7人 |
| 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース | 7人 |
| 生物環境学科 水環境再生科学特別コース | 5人 |

4. 出願要件

次の(1)から(3)までの条件を全て満たす者

(1)高等学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成30年3月修了見込みの者

(3)学校教育法施行規則第150条の規程（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

①合格した場合は入学を確約できる者

②志望学科及び志望特別コースのアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確である者

※上記(3)で出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。平成29年10月20日(金)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/individual/>)で公表しています。）

なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

| |
|--|
| 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課 平日9時～17時：電話 089-927-9172 |
|--|

5. 出願手続

(1)出願方法（インターネット出願）

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の必要書類を郵送して下さい。

※平成30年度入試より、出願方法がインターネット出願のみとなっています。

(2)出願受付期間

| | |
|---|--|
| 出願情報の登録期間 | 平成29年11月27日(月)～12月15日(金) 16時 |
| 検定料の支払期間 | 平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 16時 |
| 郵送が必要な出願書類の提出期間 | 平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 〔12月15日(金)の消印有効〕 (注) 郵送事情を考慮し、郵送が必要な出願書類の提出期間内に間に合うように手続きをしてください。 |
| 【注意】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。 インターネットで入力完了していても、調査書等の必要書類が期間内に郵送されていない場合は出願を受理しないので、注意してください。 | |

郵送が必要な出願書類は、期間内に配達されたもの及び12月16日(土)以降に配達されたものうち、12月15日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

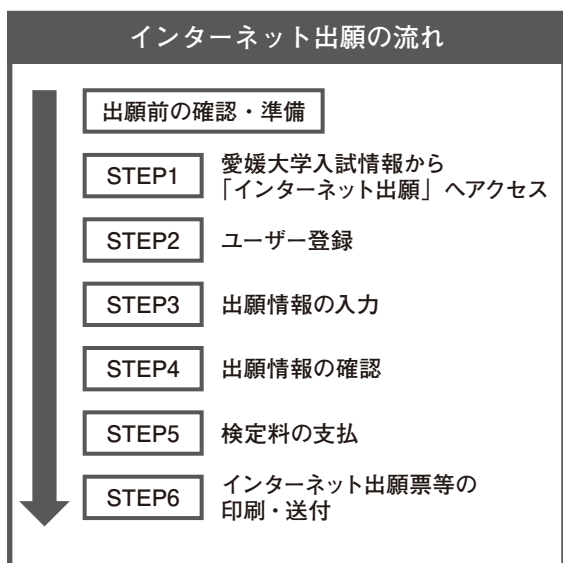
直接持参しても受理しないので注意してください。

(3)郵送が必要な出願書類の送付先

〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号
愛媛大学農学部入試係 TEL 089-946-9648

(4)出願手順, 支払方法, 出願書類

i.出願手順



出願前の確認・準備

①パソコンの確認

パソコンからインターネットを通じて出願情報の登録を行います。スマートフォン、タブレット端末、携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコンを用意してください。また、自宅にパソコンがない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコンを利用できるように確認してください。

【推奨環境】

▼ブラウザのバージョン

【Windows】Internet Explorer 11以上, Google Chrome最新バージョン, Mozilla Firefox最新バージョン
【Mac】Safari最新バージョン, Google Chrome最新バージョン, Mozilla Firefox最新バージョン

▼ブラウザの設定

JavaScriptを有効にする。
Cookieを有効にする。

▼その他必要なソフトウェア条件

インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上を推奨します。

【注意】

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話は推奨環境ではありません。PDFファイルの印刷を行うために相応の知識が必要となります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

登録するメールアドレスは、ログイン時のIDとして利用するだけでなく、出願に関する重要なお知らせが配信されるため、「@applyjapan.com」からのメールを受け取れるように設定してください。フリーメールアドレスでも差し支えありません。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy (Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング) を利用できます。7ページ「ii.検定料支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ (JPEG形式、10MBまで) をアップロードします。上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で、写真を回転し、上半身を縦4:横3のサイズに切り出すこともできます。なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、8ページ「iii.郵送が必要な出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用 [角形2号封筒 (24cm×33.2cm)] 及び受験票等返信用 [長形3号封筒 (12cm×23.5cm)] の市販の封筒が必要です。返信用封筒に貼る切手の額は、8ページ「iii.郵送が必要な出願書類」で確認してください。

STEP1

愛媛大学入試情報から「インターネット出願」へアクセス

愛媛大学入試情報>インターネット出願
https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/net_app/



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。



四国国立5大学インターネット出願 (ログイン画面)



STEP2

ユーザー登録

「新規登録」からユーザーID (メールアドレス) を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@applyjapan.com」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザー ID・パスワードでログインし、画面に沿って出願先、科目選択、個人情報(写真データを含む。)等を入力してください。

ログイン後トップ画面：出願先を選択



個人情報入力画面



写真アップロード画面



STEP4 出願情報の確認

出願情報の最終確認です。
確認画面で登録内容に間違いがないか確認してください。
これ以降は修正できません。

STEP5 検定料の支払

(平成29年12月11日(月)～12月15日(金)16時)

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。(詳細は7ページ「ii.検定料支払方法」を参照。)

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される受付番号等の支払に必要な情報をメモしてください。

(例) コンビニエンスストアを選択した場合の画面



支払手続が完了しないと、「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料の支払手続が完了すると、出願サイトから、インターネット出願票・宛名票が印刷できるようになります。

インターネット出願票・宛名票の確認

A4サイズで印刷します。カラー・白黒は問いません。

出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、8ページ「iii.送付が必要な出願書類」を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、「インターネット出願票」とその他の出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



「宛名票」の印刷ができない場合は、7ページ【宛名票が印刷できない場合の記入見本】のように封筒に直接記入してください。

【宛名票が印刷できない場合の記入見本】

| | |
|---------|--|
| 切手 | 〒790-8566 |
| | 松山市樽味3丁目5番7号 |
| 速達・簡易書留 | 愛媛大学 農学部学務チーム 行 |
| | 農学部 志望コース：○○特別コース |
| 出願書類在中 | 志願者 〒***-**** 住所 ○○県○○市○○*-* 氏名 □□□□ |

郵送

「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払
手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。
インターネットで入力完了していても、調査書等の出願
書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理し
ないので、注意してください。

ii. 検定料支払方法

検定料：17,000円

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy (Pay-easyが利用可能
な金融機関ATM及びインターネットバンキング)の3種類の支払方法があり
ます(支払方法/取扱い金融機関は、下にあるものに限りま
す)。それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してくだ
さい。なお、支払済みの検定料は8ページ「(6) 検定料の返還」の返還請求で
きる場合を除き、返還しません。

クレジットカード

【支払期限】

平成29年12月15日(金) 16時まで

- ・ Visa
- ・ MasterCard



これ以外のカードは利用できません。
志願者本人の名義でなくても可
支払方法は一括払のみ

コンビニエンスストア

【支払期限】

平成29年12月15日(金) 16時まで、「STEP5 検定料の支
払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払
手続をしてください。

- ・ ローソン
- ・ ミニストップ



「Loppi」で手続後、レジで現金支払

- ・ ファミリーマート



「Famiポート」で手続後、
レジで現金支払

- ・ サークルKサンクス



「Kステーション」で手続後、
レジで現金支払

- ・ デイリーヤマザキ
- ・ ヤマザキデイリーストア



レジで「オンライン決済」と店員に
伝えて手続後、現金支払

- ・ セイコーマート



「クラブステーション」で手続後、
レジで現金支払

Pay-easy (ペイジー)

【支払期限】

平成29年12月15日(金) 16時まで、「STEP5 検定料の支
払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインター
ネットバンキングで支払手続をしてください。

- ・ 金融機関ATM



対象金融機関*(ゆうちょ銀行等)の
Pay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。
コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。
ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行っ
てください。

- ・ インターネットバンキング

インターネットバンキングは事前に対象金融機関*への登録が必要で
す。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又
は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。
志願者本人の名義でなくても可

* 対象金融機関

<http://www.veritrans.co.jp/payment/bank/list.html>

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ
四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター
受付期間:平成29年12月11日(月)～平成29年12月15日(金)
受付時間:午前10時から午後6時まで
電話番号:082-545-4855

iii. 郵送が必要な出願書類

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-------------------|---|
| インターネット出願票 | 出願サイトからダウンロードし、A4サイズで印刷したもの 所定の箇所に「平成30センター試験成績請求票 [AO] 国公立AO入試用」を必ず貼ってください。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 印刷できない場合は、A4サイズの白紙に志願者の氏名及び志望コースを記入し、「平成30センター試験成績請求票 [AO] 国公立AO入試用」を貼ったものをインターネット出願票の替わりとしてください。 |
| 志望理由書 | 大学ホームページ (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/) からダウンロードし、A4サイズで印刷した用紙 (片面印刷, 両面印刷どちらでも可) に、志願者本人が記入したもの |
| 志願者評価書 | 大学ホームページ (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/) からダウンロードし、 <u>A4サイズで両面印刷した用紙に</u> 、出身学校長又は志願者を良く知る教員が作成し、厳封したもの |
| 調査書 | 所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。 |
| 返信用封筒 (受験票送付用) | 市販の長形3号封筒 (12cm×23.5cm) に、出願サイトからダウンロードし、A4サイズで印刷後切り抜いた宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトから検定料支払い完了後、ダウンロードできるようになります。 印刷できない場合は、封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を直接記入してください。 372円分の郵便切手を必ず貼ってください。 |

(5)検定料の返還

次に該当した場合は、納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

上記①又は②に該当した場合は、後述の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577 松山市道後樋又10番13号
愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
TEL 089-927-9074, 9077
Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(6)注意事項

- ①出願書類 (インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ) 受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。
また、出願書類は返還しません。
- ②出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ③出願後に、住所等の変更があった場合は、速やかに農学部入試係へ連絡してください。

6. 入学者選抜方法

大学入試センター試験，面接，口頭試問の結果及び出願書類（志望理由書，志願者評価書，調査書）によりアドミッション・オフィス方式（総合評価方式）によって志願者の意欲・能力・適性・関心等を多面的，総合的に評価します。

(1)大学入試センター試験の利用教科・科目（全特別コース共通）

| | | 大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科・科目の採用方法 | | | 大学入試センター 試験の利用方法 | | |
|--|-------------------------------------|---|-------|---|---------------------|---------------|-------------------|
| 5教科 7科目 (※1) | 国語 | 「国語」 | 必須 | | | 総合して判定 する。 | |
| | 地理歴史 | 「世界史A」，「世界史B」， 「日本史A」，「日本史B」， 「地理A」，「地理B」 | 1科目選択 | | | | |
| | 公民 | 「現代社会」，「倫理」，「政治経済」， 「倫理，政治経済」 | 1科目選択 | | | | |
| | 数学 | 「数学I・数学A」 | 必須 | | | | |
| | | 「数学II」，「数学II・数学B」， 「簿記・会計」，「情報関係基礎」 | 1科目選択 | | | | |
| | 理科 | 「物理基礎」，「化学基礎」， 「生物基礎」，「地学基礎」 | から2 | C | C 又は D | | 2科目 選択 (※1) |
| | | 「物理」，「化学」，「生物」， 「地学」 | から1 | | | | |
| 「物理」，「化学」，「生物」， 「地学」 | | から2 | D | | | | |
| 外国語 | 「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」， 「中国語」，「韓国語」 | 1科目選択 | | | | | |
| <p>◆「地理歴史，公民」において2科目を受験している場合は，第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において，同一名称を含む科目の選択は認めない。</p> | | | | | | | |

(※1)は，「理科」の基礎を付した科目を選択した場合は，2科目を他の教科・科目の1科目分とみなします。

注1 ◆は，学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の，科目の採用方法を示します。

2 ◇「理科」における同一名称を含む科目とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」をいいます。

3 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は，筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には，「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

4 指定した教科・科目を全て受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

5 大学入試センター試験の理科の選択方法については，次のように表記しています。

「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」から2科目及び「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1科目を選択→C

「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2科目を選択→D

6 大学入試センター試験の「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者以外に限ります。

(2)大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（全特別コース共通）

| 試験 教科等 | 大学入試センター試験 | | | | | | | | 個別学力検査等 | | | | 合計 | |
|-----------|------------|----------|------|----|----|------|---------------------|---------|---------|-----|----------|----------|-----|-----|
| | 国語 | 地理 歴史 | 公民 | 数学 | | 理科 | | 外国 語 | 計 | 面接 | 口頭 試問 | 出願 書類 | | 計 |
| | | | | ① | ② | ① | ② | | | | | | | |
| 配点 | 100 | (50) | (50) | 50 | 50 | (50) | (50) 又は (100) | 100 | 450 | 200 | 100 | 150 | 450 | 900 |

注1 () は、選択科目の配点を示します。

2 大学入試センター試験の「英語」は、リスニングを含み、配点は筆記80点、リスニング20点とします。

リスニングを免除された者は、筆記100点とします。

3 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。

「数学Ⅰ・数学A」→数学①

「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」→数学②

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」→理科①

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」→理科②

(3)採点・評価基準

i. 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース

| 教科等 | 採点・評価基準（一般的基準） |
|--|--|
| 面接 | 学習意欲，知能的食料生産科学特別コースの理念，関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また，質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。 |
| 口頭試問 | 高等学校で履修した主要教科・科目の中で，知能的食料生産科学に関連する知識について評価する。 |
| 出願書類 (志望理由書 志願者評価書 調査書) | 学業成績，人物，特別活動，進路，動機などについて，総合的に評価する。 |

ii. 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース

| 教科等 | 採点・評価基準（一般的基準） |
|--|---|
| 面接 | 学習意欲，健康機能栄養科学特別コースの理念，関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また，質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。 |
| 口頭試問 | 高等学校で履修した主要教科・科目の中で，健康機能栄養科学に関連する知識について評価する。 |
| 出願書類 (志望理由書 志願者評価書 調査書) | 学業成績，人物，特別活動，進路，動機などについて，総合的に評価する。 |

iii. 生物環境学科 水環境再生科学特別コース

| 教科等 | 採点・評価基準（一般的基準） |
|----------------------------------|--|
| 面接 | 学習意欲，水環境再生科学特別コースの理念，関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また，質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。 |
| 口頭試問 | 高等学校で履修した主要教科・科目の中で，水環境再生科学に関連する知識について評価する。 |
| 出願書類 （志望理由書 志願者評価書 調査書） | 学業成績，人物，特別活動，進路，動機などについて，総合的に評価する。 |

7. 合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

| コース | 事項 | 採点・評価基準（一般的基準） | |
|---------------|----|----------------|--------------|
| | | 総合点で合否を判定する。 | 同点者の順位決定基準 |
| 知的食料生産科学特別コース | | ○ | 同点者は，同順位とする。 |
| 健康機能栄養科学特別コース | | ○ | 同点者は，同順位とする。 |
| 水環境再生科学特別コース | | ○ | 同点者は，同順位とする。 |

8. 選抜期日等及び試験場

(1)選抜期日等

平成30年1月27日(土)午前9時から面接及び口頭試問

(2)試験場

愛媛大学農学部講義棟

9. 合格者発表の日時

平成30年2月2日(金)午後4時

①合格者については，農学部掲示場に受験番号で発表するとともに，合格通知書，入学手続関係書類及び入学案内を送付します。

②愛媛大学ホームページに合格者受験番号を掲載します（午後4時30分頃）。ただし，ホームページ上での発表は，参考として閲覧の上，必ず前述①の合格者発表により確認してください。
(<https://www.ehime-u.ac.jp/>)

(注) 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

試験当日等に大学周辺で行われている合否電報等の受付については本学とは一切関係ありません。

10. 入学手続及び初年度の諸経費

(1)入学手続

①入学手続期間 平成30年2月7日(水)～2月9日(金)必着

②入学手続書類等

| 書類等 | 摘要 | 備考 |
|-----------------------------|--|----------------------|
| 宣誓書 | 本学所定の用紙に必要事項をボールペンで記入したもの | 合格通知書とともに送付します。 |
| 保証書 | 同上 | |
| 学生記録 | 同上 | |
| 学生証写真票 | 同上 | |
| 保証人への成績開示に関する同意書 | 同上 | |
| 平成30年度 大学入試センター 試験受験票 | 大学入試センター発行のもの | 入学手続完了後に返還します。 |
| 平成30年度 愛媛大学受験票 | 本学発行のもの | |
| 入学資格証明書 | 卒業証明書又はこれに代わる証明書 | 在学中の者は、卒業後に提出してください。 |
| 住民票の写し | 市区町村長が発行したもの（日本国籍を有しない者のみ提出してください。） | |
| 写真 (白黒又はカラー) | 縦4cm×横3cmのもの2枚（上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したもの）1枚は、学生記録の写真欄に貼ってください。1枚は、学生証写真票に貼ってください。 | |
| 入学料及び授業料 | 12ページ「(2)初年度の諸経費」を参照 | |

③入学手続の方法

本学から送付する入学手続書類に必要事項を記入の上、前記②の入学手続書類等を一括して、本募集要項4ページ記載の(3)郵送が必要な出願書類の送付先まで、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

なお、やむを得ず持参する場合は、あらかじめ愛媛大学農学部入試係（平日8時30分～17時：TEL 089-946-9648）まで連絡の上、入学手続期間内に提出してください。

入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

(2)初年度の諸経費

①入学料 282,000円

入学手続期間内に「振込依頼票」を使用して、最寄りの金融機関の窓口（郵便局及びゆうちょ銀行を除く。）で振り込んでください。

②授業料 年額535,800円（前期分：267,900円、後期分：267,900円）

納入期日等については、合格通知の際にお知らせします。在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。

③その他の経費

入学時に、その他の諸経費として、学生教育研究災害傷害保険料、学生教育賠償責任保険料及び校友会費等の納入が必要となります。

（納入額は70,660円の予定ですが、変更される場合もあります。）

※入学料及び授業料の額は、平成29年度納付額であり、平成30年度は改定になる場合があります。

(3)入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

11. 障がい等を有する入学志願者の出願

障がい等を有する者で、受験上又は修学上配慮を必要とする者は、随時相談に応じますので、農学部入試係までご相談ください。ただし、重度の障がい等を有する場合は、できるだけ早い時期にご連絡をお願いします。(必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります。)

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

※相談は障がい等を有する志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法や在り方を模索するためのもので、障がい等を有する方の受験や修学を制限するものではありません。

(1)受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願の期限までに提出できなかった場合は、早急に農学部入試係までご連絡ください。

- ・受験上等配慮申請書 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/よりダウンロード>)
- ・身体障害者手帳の写し、または医師の診断書(写しでも可)等で、障がい等の状況を確認できるもの

※診断書が発行されない場合はその旨を申し出てください。

- ・大学入試センターからの通知書の写し(大学入試センター試験の受験上の配慮の決定を受けた者)

(2)受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上又は修学上の配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

(3)相談及び提出先

愛媛大学農学部入試係

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

電話 089-946-9648 / FAX 089-941-4175

Eメール agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp

12. 留意事項

(1)農学部のアドミッション・オフィス入試Ⅱ(AO入試Ⅱ)では、農学部で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査するため、合格者が募集人員に満たないことがあります。

(2)合格し、入学手続を完了した者は、国公立大学の一般試験の合格者とはなりません。合格者は、平成30年2月9日(金)までに「入学辞退届」を提出しない場合には、国公立大学の一般試験の合格者とはなりません。

なお、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、AO入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(3)本入試に不合格となった場合に備えて、本学を含めて他の国公立大学・学部一般入試に出願することができます。

13. 入学試験個人成績の開示

本学では、入学試験の個人成績及び調査書（「指導上参考となる諸事項」，「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄は除く。）を受験者本人に限って、次のとおり開示します。希望者は、期間内に申し込んでください。

ただし、個別学力検査等の全部又は一部を受検していない場合は、試験成績を開示しません。

- (1)請求者：受験者本人に限ります。(代理人は不可)
- (2)請求期間：平成30年5月1日(火)から平成30年5月31日(木)
郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。
- (3)請求方法：書面（記入例参照）により、平成30年度愛媛大学受験票又は平成30年度大学入試センター試験受験票と、402円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、農学部入試係へ請求してください。
- (4)開示方法：農学部入試係に到着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、「簡易書留郵便」で送付します。

(請求書面記入例)

| | |
|--|-------------------|
| 愛媛大学農学部長 殿 | 平成 30 年 月 日 |
| 請求者氏名 愛媛大学受験番号 連絡先 電話 | 印 — — |
| 入学試験個人成績・調査書開示請求書 | |
| 平成 30 年度の農学部 A O 入試 II について、下記のとおり開示請求します。 | |
| 記 | |
| ① 試験成績 ② 調査書 | |
| 開示請求するものを明記してください。 | |

14. 個人情報の取扱い

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

